

【メモ】新幹線の列車愛称

2008年11月

1. 基礎知識

- 列車の愛称は、JR 東海・西日本運営の東海道・山陽新幹線では速度別
- JR 東日本運営の路線では方向・目的地別。
- E1 などの「E」は東日本の E。
- E1 系・E4 系「Max」を使用する場合は前に「Max」が付く。

2. 東海道・山陽新幹線

のぞみ：最速列車。N700 系、700 系、500 系、まれに臨時で 300 系。

ひかり：「のぞみ」の補完列車。「のぞみ」でも「こだま」でもない列車という定義。山陽新幹線では「ひかりレールスター」も。主として 700 系、300 系、一部で N700 系、500 系（不定期）。

こだま：各停。東海道と山陽をまたがる「こだま」は存在しない。700 系、300 系、500 系（不定期）の他、山陽新幹線で 100 系、0 系、早朝・夜にひかりレールスター。

3. 九州新幹線

つばめ：単一愛称。新八代駅で「リレーつばめ」と同一ホーム対面乗り換え。800 系。

4. 東北新幹線

はやて：主として東京―八戸。E2 系 1000 番代、E3 系（こまち編成、増結用）。

やまびこ：盛岡駅以南。下記の「なすの」を除く。仙台以南では E1 系以外の JR 東日本の全ての形式を使用、仙台以北は E2 系、E3 系（こまち編成、増結用）、E4 系（E1 系の改良型）。E4 系が MAX やまびこ。

なすの：東京―那須塩原駅・郡山駅の各駅停車。E1 系以外の JR 東日本の全ての形式を使用。E4 系が MAX なすの。

5. 秋田新幹線

こまち：基本的に、盛岡まで「はやて」に引かれていく。E3 系使用。

6. 山形新幹線

つばさ：基本的に、福島まで「MAX やまびこ」に引かれていく。400 系、E3 系 1000 番代使用。

7. 上越新幹線

とき：下記の「たにがわ」を除く列車。200 系、E1 系とその改良型の E4 系。開業当初は各駅停車。当初は「あさひ」だったが、東京―高崎の同じ区間の「あさま」との混同防止のため改称。E1 系が MAX とき。

たにがわ：越後湯沢駅（スキーシーズンはガーラ湯沢駅）まで。使用車両は「とき」と同じ。E1 系が MAX たにがわ。

8. 長野新幹線（一時「長野行新幹線」）

あさま：東京―長野。E2 系。

9. 消えた愛称

あおば：東北新幹線。各停。1997 年 10 月 1 日のダイヤ改正で「なすの」・「やまびこ」へ統合。

あさひ：上越新幹線。「あさま」と名称が紛らわしいため、「とき」へ改称された。

ウエストひかり、グランドひかり：山陽新幹線。“ひかりレールスターへ”。

【新幹線車両別】

0 系	山陽	こだま	0 系は H20.11.30 引退
100 系			
300 系	東海	ひかり、こだま	
500 系		のぞみ	
700 系		のぞみ、ひかり、こだま	
N700 系	山陽	のぞみ	
700 系		ひかり（ひかりレールスター）	
7000 番台			
800 系	九州	つばめ	
200 系	上越	とき、 たにがわ	東北・上越新幹線初代 車両
400 系	山形	つばさ	最初のミニ新幹線
E1 系	上越	Max とき、Max たにがわ	
E2 系	東北	はやて、やまびこ、なすの	
	長野	あさま	
E3 系	秋田	こまち	秋田用に開発
	山形	つばさ	
E4 系	東北	Max やまびこ、 Max なすの	E1 の改良型
	上越	Max とき、 Max たにがわ	

というわけで、平成 20 年 11 月現在 12 種。MAX を別に数えれば 16 種。